

ハンググライディングB級パイロット技能証課程 実技科目チェック表

習得判断基準: 2、10は教員の口頭試問。1、3～9は各科目3回成功

アミかけは実技検定科目(4、5、6、8)

科目	インストラクター署名欄			備考
	日付/署名	日付/署名	日付/署名	
1 機材の取り扱いとプレフライトチェック ・正確に早く機体を組み立て、余裕を持ってプレフライトチェックを実施できる				
2 フライトプラン ・テイクオフからランディングまでを事前に想定できる				
3 周囲警戒と飛行決心 ・安全に練習できる風向風速を判断できる ・衝突回避のため周囲の状況を見ることができる				
4 テイクオフ ・無風～やや強めの風(0～4m/s)で、ピッチとロールのバランスを保ってテイクオフできる				
5 直線飛行 ・スタンディングフォームを維持できる ・空中で左右の修正をして目標物に向かう直線飛行ができる				
6 ランディング ・左右のバランスを保つことができる ・適切な速度コントロールができる ・風に合わせた適切なフレアーがかけられる ・安全に着地できる				
7 初歩の旋回飛行 ・進行方向を5～10度変える緩旋回ができる				
8 30度程度の左右旋回 ・左または右に30度程度方向を変え、水平に戻せる				
9 高高度飛行の準備[1] ・山飛び用の機体への乗換え ・CG確認 ・パラシュートの開傘シミュレーション				
10 高高度飛行の準備[2] ・テイクオフ場・ランディング場の見学 ・ランディングアプローチの図上演習				
実技検定: 検定科目を実演し単独にて安全に安定した飛行ができる				